



株式会社 図研

進化する  
エレクトロニクスものづくりを  
トータルにサポートする  
ソリューションカンパニー



## 第32期 ビジネスレポート

2007年4月1日～2008年3月31日

# 財務ハイライト

01

ごあいさつ

02

社長インタビュー

04

エレクトロニクスものづくりの  
全体最適化に向けて

06

グループ戦略

07

アジアビジネス／欧米ビジネス

08

連結財務諸表

10

単体財務諸表

12

シリーズ 図研 Q & A

13

会社データ & 株主メモ

## 連結財務ハイライト

|            | 第29期<br>2004年4月 1日から<br>2005年3月31日まで | 第30期<br>2005年4月 1日から<br>2006年3月31日まで | 第31期<br>2006年4月 1日から<br>2007年3月31日まで | 第32期<br>2007年4月 1日から<br>2008年3月31日まで |
|------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高(百万円)   | 15,769                               | 16,798                               | 19,163                               | 22,018                               |
| 経常利益(百万円)  | 2,042                                | 2,173                                | 2,487                                | 2,769                                |
| 当期純利益(百万円) | 2,185                                | 2,452                                | 1,442                                | 1,757                                |
| 1株当たり当期純利益 | 77円65銭                               | 90円88銭                               | 55円70銭                               | 67円86銭                               |
| 総資産(百万円)   | 35,768                               | 34,073                               | 36,689                               | 37,685                               |
| 純資産(百万円)   | 28,129                               | 25,526                               | 26,163                               | 28,316                               |
| 1株当たり純資産   | 1,007円61銭                            | 984円95銭                              | 1,005円27銭                            | 1,087円37銭                            |

## 単体財務ハイライト

|            | 第29期<br>2004年4月 1日から<br>2005年3月31日まで | 第30期<br>2005年4月 1日から<br>2006年3月31日まで | 第31期<br>2006年4月 1日から<br>2007年3月31日まで | 第32期<br>2007年4月 1日から<br>2008年3月31日まで |
|------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高(百万円)   | 11,787                               | 12,106                               | 12,235                               | 12,651                               |
| 経常利益(百万円)  | 1,859                                | 1,832                                | 2,039                                | 2,136                                |
| 当期純利益(百万円) | 1,330                                | 937                                  | △1,986                               | 1,764                                |
| 1株当たり当期純利益 | 47円00銭                               | 34円31銭                               | △76円70銭                              | 68円16銭                               |
| 総資産(百万円)   | 33,779                               | 31,073                               | 30,093                               | 31,191                               |
| 純資産(百万円)   | 28,136                               | 26,610                               | 23,990                               | 25,332                               |
| 1株当たり純資産   | 1,007円85銭                            | 1,026円81銭                            | 926円41銭                              | 978円29銭                              |

(注) 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数により、1株当たり純資産は期末発行済株式総数により算出してあります。なお、それぞれ自己株式数を控除した株式数により算出してあります。

## ごあいさつ

株主の皆さまには平素のご厚情に、心より厚く御礼申し上げます。ここに、第32期(2007年4月1日～2008年3月31日)のビジネスレポートをお届けするにあたりまして、当期の業績や業務活動の概要をご説明申し上げます。

### 当期の業績について

連結業績において、売上高は前期を上回り過去最高の結果となりました。経常利益につきましても、為替差損の発生があったものの過去最高益となるとともに、当期純利益は大幅な増益となりました。その要因としては、

- 配線設計関連ビジネスを中心に欧米での売上が好調
- 前期に子会社化したIP関連ビジネスの伸張

などがあげられますが、各分野において次のような取り組みを実行してきたことが、業績につながったと考えております。

### 各分野における主な取り組み

#### EDA (エレクトロニクス設計) 分野

主力製品である回路・基板設計システムにおいて、複数人による同時並行設計を実現する機能を開発したほか、製品の構想段階で回路・基板、機構などの主要素を元に製品開発の可否について検証できるシステムを新たに発売いたしました。また、自動車分野や電気・機械の協調設計分野など、新市場への取り組みにも継続して注力いたしました。

#### PLM (設計・製造に関する技術情報の管理) 分野

製品の不具合情報や品質情報を体系化し、これを設計プロセスで活用する連携機能など、各種管理機能を拡充いたしました。また、電気設計と機械設計の情報を統合して連携させる機能を新たに開発したほか、電子部品を3次元データで提供する新たなビジネスの準備を進めてまいりました。

#### SoC (半導体設計) 分野

半導体分野で脚光を浴びつつある、C言語環境でLSI設計を

実現するシステムの提供を開始したほか、人員の拡充により半導体デザインサービスへの取り組みを強化いたしました。また、半導体機能ブロックを知的設計資産(IP)として提供するビジネスを精力的に推進いたしました。

### グローバル展開

前期に実施したドイツでの子会社買収が、自動車や産業機器などの配線設計を行うシステムの拡販につながったほか、欧米では大手のお客さまからEDA分野での大型受注が続きました。中国、台湾などアジアにおきましては、組織体制の強化を図るとともに、引き続き日系企業へのサポート強化、現地企業へのビジネス推進に取り組みました。

### 今後の見通し

原油価格の高騰、為替市場の変動などの影響から景気の後行きが懸念されますが、当社グループのお客さまにおきましては、デジタル機器市場の拡大、自動車産業を含む製品のエレクトロニクス化の進展は、今後も継続していくものと思われまします。当社は、幅広いエレクトロニクス製造業において信頼されるパートナーとして、設計・製造プロセスの全体最適化を継続して推進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2008年6月

代表取締役社長



金子真人

## 社長インタビュー

## Q.1

2008年3月期の業績についてどのようにお考えですか？

**A.** 連結業績は売上、経常利益ともに過去最高となりましたが、単年度の業績で一喜一憂するということはありません。当期では、一昨年設立したIP関連子会社や同じく一昨年買収したドイツの子会社が業績に貢献したこと、欧米での大型受注などがトピックスとして挙げられます。M&Aや子会社設立などグループ経営の一環として行ってきた諸活動も、その背景にはあらゆるエレクトロニクス製造業の設計・製造プロセスの全体最適化を図るために、図研ならではの21世紀型パッケージビジネスを推進する、という戦略が基本にあり、それぞれの施策が着実に成果となってきているという自負はあります。



## Q.2

当期にサポート子会社の設立を含め機械系CADの販売を始められたことも基本戦略の一環ということですか？

**A.** もちろんその通りです。エレクトロニクスものづくりの全体最適化という課題を解決するには、電気設計分野と機械設計分野との協調というテーマがますます重要になってきてお

り、そのためのソリューションは図研しか提供できないと考えます。自動車産業では3次元データを活用して、試作回数を減らす努力をいちはやく続けてきましたが、いわゆる民生家電でも、とどまることのない製品の小型化・高密度化や低消費電力対応、発熱対策などの環境にやさしいものづくりの追求といった、複合的でトレードオフ関係にある課題を解決しなくてはなりません。そこで電気と機械の隙間を埋めていくためのITの導入が不可欠になってきているわけです。あくまで重要なのは電気設計分野でのコア技術を一層深めることですが、エレクトロニクスものづくりを30年以上に渡って支援してきた図研だからこそ、電気設計と機械設計を適切に連携させてデジタル・モックアップを実現させるソリューションを提供できると考えています。

## Q.3

ここ数年間で国内外での子会社設立やM&Aを実施していますが、その成果はいかがですか。

**A.** 国内IP子会社やドイツで買収したハーネス設計ソフトウェア企業の例に限らず、以前から長期的な観点で、エレクトロニクス製造業のものづくりインフラ構築を推進するために必要と思われる子会社を設立し、M&Aも行っています。たとえば1997年に設立したジーサスは、専門エンジニアの派遣や技術分野のアウトソーシングが今後重要となることを見越して設立したわけですが、その後順調にビジネスを拡大させています。図研グループとしてソフトウェア、コンサルティングなどを含むサービス、そして人材を含む総合的なソリューションを提供するための布石を打ってきたわけで、私が社内

で繰り返し訴えている、他に例のない図研独自の「21世紀型」のソリューションビジネスを推進する上でもシナジー効果（相乗効果）が出ていると思います。

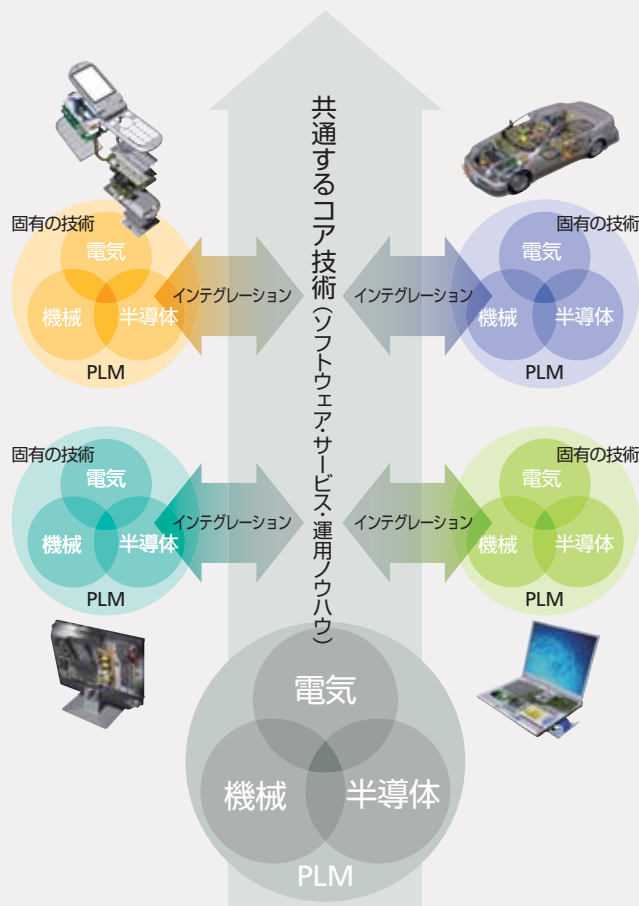
## Q.4

**あらためて基本戦略である「21世紀型のパッケージビジネス」についてご説明ください。**

**A.** まず基本になるのは、どのような製品や産業においても必要となる共通の技術を、継続して蓄積し磨きをかける、ということです。そして、そのベースの上に、自動車や各デジタル機器固有に必要となる技術やノウハウを加味し、全体の統合化を図った上で、産業別のソリューションパッケージとして提供していく、という構図です。そして従来までは電気設計分野と、ハードウェア・組込みソフトウェア、IPなどを含む半導体（電子部品）の分野を対象にしていたが、新たに機械設計分野が加わったわけです。そして、電気・機械・半導体（電子部品）を含むものづくり全体を管理するPLMのソリューションも、コアとなる基礎部を活かしながら、特定分野ごとに適応したモジュールも統合して提供していくこととなります。こういった、かつての「パッケージ」という言葉の意味からすれば格段にスケールアップした、産業別の大きなパッケージとして、エレクトロニクスものづくりに不可欠なCADやPLMのソフトウェアの提供、その運用コンサルティング、お客様のプロジェクトへの密接な支援などをワンストップで提供する、まったく他に類を見ないビジネスモデルを推進しているわけです。

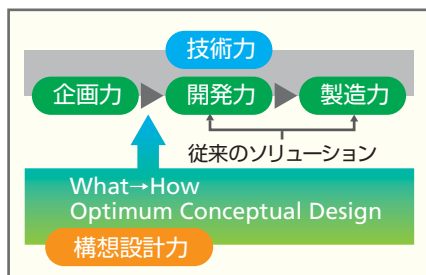


### 製品・産業別パッケージのイメージ



エレクトロニクスものづくりの全体最適化に向けて

## 優れた企画を設計・製品化へ素早く確実に生かす、 図研のオンリーワンソリューション



WhatとHowを確実につなぐために

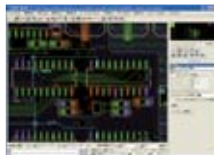
### ■System Planner

優れた製品企画を効率よくエレクトロニクスものづくりに反映するため、まず

必要になるのが、構想設計のプロセスです。性能を左右する中核となる電子部品、小型化・高密度化を実現するためのプリント基板の仕様、市場での売上を左右するデザイン、消費電力や環境面での考慮といったトレードオフの関係にある複数の課題を最初に検証しておくことがその後の詳細設計・製造プロセスの効率を大きく左右します。あいまいなままで次工程に進み設計をやり直すことになれば、コストも時間も無駄になります。

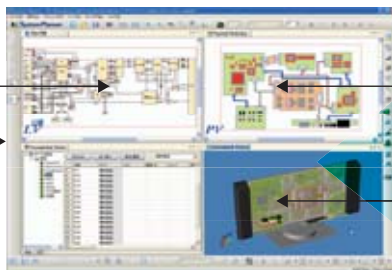
この問題を改善するソリューションとして、図研が新たに提供するのが、System Plannerです。System Plannerは、構想設計段階で、ソフト、半導体、基板、機械、筐体といった技術と、各種の設計・製造条件との整合性が検証できます。整合性が確認できると、そのデータを図研の各種ツールに取り込むため、新製品開発がスムーズにスタートできるのです。

論理・回路  
設計EDA

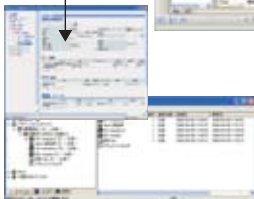


基板設計用  
EDA

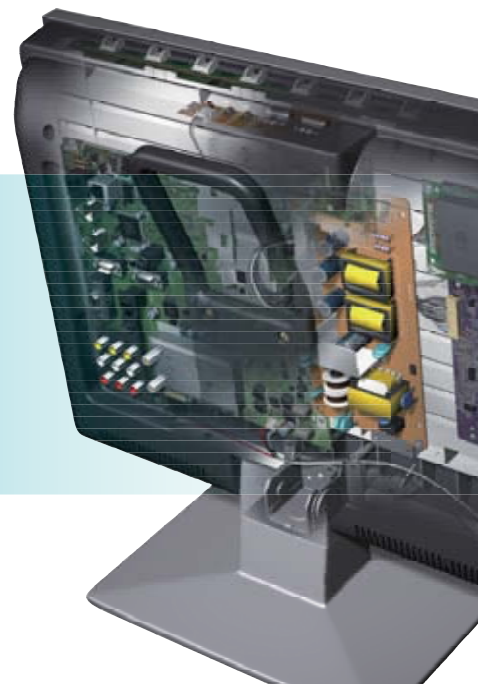
System Planner



PLM/PDM  
システム



各種解析  
ツール



また、既存の設計データをSystem Plannerに取り込み、仕向地別の仕様変更や画面サイズ違いといったバリエーション製品の早期開発も可能になります。

### 試作検証の効率化を推進する

#### ■V54EE & ePartCatalog

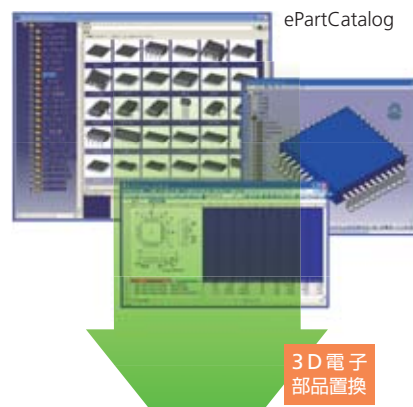
優れた製品企画に基づき詳細設計を進めた後で重要になるのは試作検証のプロセスです。

この工程は現在、実際の試作品によって行われていますが、この段階で問題が発覚すると、設計のやり直しにかかるコストと時間は膨大です。図研

は、エレクトロニクス製品の機械設計に特化した3次元CADであるV54EEを市場に投入しましたが、V54EEによる検証を一層試作品レベルに近づけるために、ePartCatalog (特許出願中)を開発しました。ePartCatalogは、電子部品のリアルな立体形状情報を集めたライブラリで、通常使用される電子部品の約9割をすでに網羅しています。このデータはそのままV54EEで使うことができ、今や0.01mmレベルでのチェックが必要となった電子部品の実装検討をはじめ、熱解析、構造解析、製造性の検証などが可能となります。試作品を作らずに精度の高いチェックが可能となることで、市場投入までの大幅な期間短縮

とコスト低減を実現します。

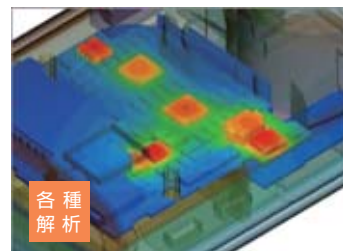
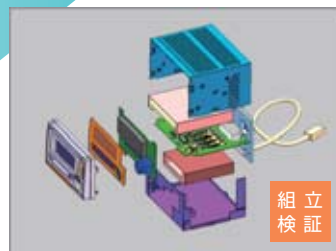
構想、詳細設計、検証といったエレクトロニクスものづくりの全体最適化が実現できるのは、電気設計をコアに各種ソリューションを提供する図研だけです。これからもオンリーワンのソリューションで、エレクトロニクスものづくりの進化に貢献します。



3D電子部品置換

魅力あるエレクトロニクス製品がベストのタイミングで発売できるように。私たちが今めざしているのは、製品開発者の優れた企画力が効率よくものづくりに反映できる環境の実現です。そのために、コアである電気設計技術の追求とともに、関連技術間の連携を強化し、図研にしかできないソリューション提供に取り組んでいます。

V54EE

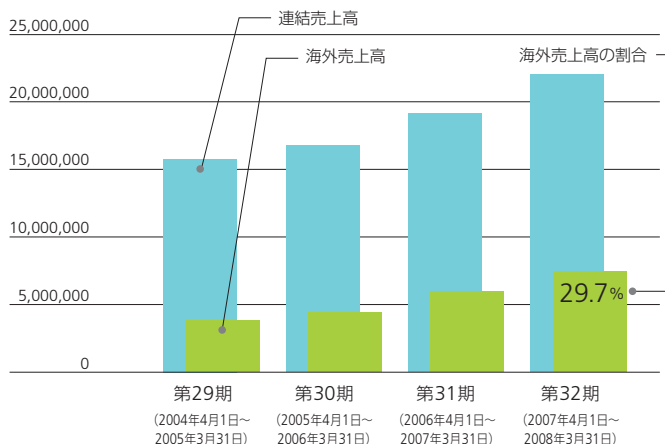


## グループ戦略

中核システムであるCR-5000/Lightningの開発において、日本・ドイツ・イギリスのR&D拠点間のチームワークはますます緊密になり、最新技術への対応や、グローバル市場のニーズを踏まえた開発が、海外での大型受注にもつながっていると思います。今期予定されている自動配線などCR-5000の新機能のリリースも業績に反映されることを期待しています。今後もより一層グローバルな視点で開発体制を強化し、エレクトロニクスものづくりの基盤となるシステム開発を推進します。

また、当期はここ数年に実施したグループ戦略の成果が現れた一年だったと言ってよいでしょう。一昨年設立した半導体の開発において重要なIP（知的設計資産）をビジネスの主体とするインベンチュアと、同じ年に買収したハーネス設計ソフトウェア分野で独自の技術と顧客層を持つドイツのCIM-TEAMが業績に少なからず貢献しました。もちろん、ビジネスの中核は電気系のCADシステムとPLMのシステムであ

連結売上高と海外売上高の推移  
(千円)



り、国内での売上が主体であることに変わりはありませんが、今後の発展性を実感できた一年でした。

海外での売上高の割合は当期でほぼ30%のレベルまで達しました。市場状況やお客さまと会話して得た実感として、今後は全体の売上を底上げしながらも海外売上高比率を今以上に高めることが十分に可能であろうと思っています。もちろん、海外でのビジネスは国内での成功事例の単なる延長という安易な取り組み方で成功するはずがなく、欧米、アジアそれぞれの市場に適応した戦略や組織的な取り組みが必要になります。それぞれの市場の状況や方針などについて、昨年新たに取締役役に就任した2名が次頁にてご説明しておりますので、ぜひご確認ください。

また、最新の情報として、2008年5月に組込みシステム市場での事業拡張のため、エルミック・ウェスコム株式会社と業務・資本提携を実施いたしました。エレクトロニクス製品の機能を左右する組込みシステム開発分野でのビジネスにおいて、図研と会社の高い相乗効果を期待しています。

今後も、グループそしてグローバル、という言葉キーワードとしてお客さまや株主の皆さまのご期待にお応えするべく努力を続けてまいります。

代表取締役副社長 勝部 迅也

## アジアビジネス

図研は1992年にZUKEN KOREA Inc.をソウルに設立して以降、シンガポール、中国、そして台湾での現地法人設立を進め、アジアでも幅広くビジネスを展開しています。それぞれの市場に適合した販売とサポートを現地メンバーが主体となって行っておりますが、お客様の日本本社とアジアの工場とのネットワーク構築などにとどまらず、現地法人と本社の緊密なチームワークがビジネスの成功には不可欠となっています。そこで今期より、本社内の技術支援関係と販売管理支援関係の組織をアジアビジネス推進室という新組織として統合しました。これにより、アジア各地の図研オフィスの支援をワンストップで行える基盤ができたわけです。

かつては日系企業のアジア進出支援が中心でしたが、当期では長年の活動の成果として台湾の大手EMS企業からの大型受注をはじめ現地企業への販売も増加傾向にあります。また、インドでは大手自動車メーカーへのハーネス設計システムのビジネスで成果が出ており、今後も世界第2位の人口を擁する市場での基盤を固めていきたいと思っております。

従来の製造拠点としてのアジアという観点のみならず、拡大する市場としてのアジアの現地企業へのビジネスも推進してまいります。

北京オリンピック以降でもアジア全体では高い経済成長が期待でき、グローバル企業図研として、より一層アジアでの存在意義を向上させるべくビジネスを推進します。

専務取締役 嶋内 敏博

アジアと欧米の主な拠点



## 欧米ビジネス

欧米市場においては顧客の短期・長期目標達成を支援するソリューションの提供を最優先に考えます。そうすることが、図研の持続的成長を可能にすると考えます。「新規事業創出と既存事業拡大」および「信頼され続けるパートナーにふさわしい業務・サービスインフラの確立」に注力し、欧米事業を展開していきます。

当期は、南北アメリカ市場におけるこれまでの活動が実を結び、飛躍の一年となりました。防衛産業への参入を拡大するなど、将来にわたる成長の基盤ができつつあります。これまで試行錯誤してきた市場ですが、アメリカ市場でのビジネスに確かな手応えを感じています。

ヨーロッパもまた、図研にとって重要な市場であり、引き続き新たなビジネス・チャンスを追求していきます。図研と強い信頼関係にあるクライアントに対して、革新的なソリューションを提案できるパートナーであり続けることを目指しています。

欧米地域におけるエレクトロニクス製造業において、図研は今後も十分に成長が期待でき、顧客基盤拡大のために組織体制も強化しています。

回路設計、基板設計、コンポーネント・ライブラリやデータ・マネジメントなどの幅広いソリューションを提供することで、今後も新規大型クライアントの獲得を含めたビジネスの推進に努めます。

取締役・欧米営業担当 ゲルハルト・リプスキー



## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位 千円)

| 科目          | 当期<br>(2008年3月31日現在) | 前期<br>(2007年3月31日現在) |
|-------------|----------------------|----------------------|
| <b>資産の部</b> |                      |                      |
| <b>流動資産</b> | <b>27,001,766</b>    | <b>25,830,921</b>    |
| 現金及び預金      | 4,562,756            | 4,713,278            |
| 受取手形及び売掛金   | 5,674,231            | 5,021,311            |
| 有価証券        | 15,304,046           | 14,681,508           |
| たな卸資産       | 254,826              | 186,201              |
| 繰延税金資産      | 533,385              | 455,679              |
| その他         | 727,745              | 837,617              |
| 貸倒引当金       | △ 55,224             | △ 64,675             |
| <b>固定資産</b> | <b>10,684,161</b>    | <b>10,858,537</b>    |
| 有形固定資産      | 7,212,952            | 7,341,711            |
| 建物及び構築物     | 3,784,131            | 3,843,167            |
| 機械装置及び運搬具   | 64,126               | 90,161               |
| 工具器具備品      | 355,135              | 398,823              |
| 土地          | 3,009,559            | 3,009,559            |
| 無形固定資産      | 1,209,107            | 1,303,153            |
| のれん         | 890,235              | 970,288              |
| その他         | 318,871              | 332,865              |
| 投資その他の資産    | 2,262,101            | 2,213,671            |
| 投資有価証券      | 387,357              | 769,414              |
| 関係会社株式      | 621,527              | 554,456              |
| 繰延税金資産      | 265,607              | 23,900               |
| その他         | 995,220              | 865,899              |
| 貸倒引当金       | △ 7,611              | —                    |
| <b>資産合計</b> | <b>37,685,928</b>    | <b>36,689,458</b>    |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位 千円)

| 科目              | 当期<br>(2008年3月31日現在) | 前期<br>(2007年3月31日現在) |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| <b>負債の部</b>     |                      |                      |
| <b>流動負債</b>     | <b>6,667,371</b>     | <b>6,076,231</b>     |
| 支払手形及び買掛金       | 1,028,475            | 909,974              |
| 未払法人税等          | 902,743              | 1,065,137            |
| 繰延税金負債          | 6,013                | —                    |
| 前受金             | 1,950,482            | —                    |
| 賞与引当金           | 708,284              | 612,301              |
| 役員賞与引当金         | 34,100               | 44,875               |
| その他             | 2,037,271            | 3,443,942            |
| <b>固定負債</b>     | <b>2,702,315</b>     | <b>4,450,037</b>     |
| 繰延税金負債          | —                    | 322,602              |
| 退職給付引当金         | 2,590,105            | 4,015,225            |
| その他             | 112,210              | 112,210              |
| <b>負債合計</b>     | <b>9,369,687</b>     | <b>10,526,268</b>    |
| <b>純資産の部</b>    |                      |                      |
| <b>株主資本</b>     | <b>28,121,182</b>    | <b>26,025,435</b>    |
| 資本金             | 10,117,065           | 10,117,065           |
| 資本剰余金           | 8,657,753            | 8,657,753            |
| 利益剰余金           | 11,877,992           | 9,780,839            |
| 自己株式            | △ 2,531,628          | △ 2,530,222          |
| <b>評価・換算差額等</b> | <b>36,009</b>        | <b>6,985</b>         |
| その他有価証券評価差額金    | 26,889               | 189,103              |
| 繰延ヘッジ損益         | 103                  | —                    |
| 為替換算調整勘定        | 9,016                | △ 182,117            |
| <b>少数株主持分</b>   | <b>159,048</b>       | <b>130,768</b>       |
| <b>純資産合計</b>    | <b>28,316,241</b>    | <b>26,163,189</b>    |
| <b>負債純資産合計</b>  | <b>37,685,928</b>    | <b>36,689,458</b>    |

## 連結損益計算書の要旨

(単位 千円)

| 科目           | 当期                           | 前期                           |
|--------------|------------------------------|------------------------------|
|              | 2007年4月 1日から<br>2008年3月31日まで | 2006年4月 1日から<br>2007年3月31日まで |
| 売上高          | 22,018,737                   | 19,163,005                   |
| 売上原価         | 5,370,161                    | 4,628,575                    |
| 売上総利益        | 16,648,575                   | 14,534,429                   |
| 販売費及び一般管理費   | 13,809,567                   | 12,145,719                   |
| 営業利益         | 2,839,008                    | 2,388,710                    |
| 営業外収益        | 325,891                      | 253,847                      |
| 営業外費用        | 395,388                      | 155,237                      |
| 経常利益         | 2,769,511                    | 2,487,320                    |
| 特別利益         | 54,825                       | 133,285                      |
| 特別損失         | 222,610                      | 145,556                      |
| 税金等調整前当期純利益  | 2,601,726                    | 2,475,049                    |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,358,205                    | 1,442,853                    |
| 法人税等調整額      | △ 524,473                    | △ 442,828                    |
| 少数株主利益       | 10,870                       | 32,681                       |
| 当期純利益        | 1,757,124                    | 1,442,342                    |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位 千円)

| 科目                       | 当期                           | 前期                           |
|--------------------------|------------------------------|------------------------------|
|                          | 2007年4月 1日から<br>2008年3月31日まで | 2006年4月 1日から<br>2007年3月31日まで |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー     | 1,197,862                    | 2,630,949                    |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー     | △ 681,985                    | △ 3,221,795                  |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー     | △ 242,791                    | △ 421,584                    |
| 現金及び現金同等物<br>に係る換算差額     | △ 102,086                    | 130,458                      |
| 現金及び現金同等物<br>の増加額(又は減少額) | 170,999                      | △ 881,973                    |
| 現金及び現金同等物<br>の期首残高       | 10,368,850                   | 11,250,823                   |
| 現金及び現金同等物<br>の期末残高       | 10,539,849                   | 10,368,850                   |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書 当期 (2007年4月1日から2008年3月31日まで)

(単位 千円)

|                               | 株主資本       |           |            |            |            | 評価・換算差額等         |             |              |                | 少数株主<br>持分 | 純資産<br>合計  |
|-------------------------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------------|-------------|--------------|----------------|------------|------------|
|                               | 資本金        | 資本剰余金     | 利益剰余金      | 自己株式       | 株主資本<br>合計 | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ<br>損益 | 為替換算<br>調整勘定 | 評価・換算<br>差額等合計 |            |            |
| 2007年3月31日 残高                 | 10,117,065 | 8,657,753 | 9,780,839  | △2,530,222 | 26,025,435 | 189,103          | —           | △182,117     | 6,985          | 130,768    | 26,163,189 |
| 連結会計年度中の変動額                   |            |           |            |            |            |                  |             |              |                |            |            |
| 剰余金の配当                        | —          | —         | △258,955   | —          | △258,955   | —                | —           | —            | —              | —          | △258,955   |
| 当期純利益                         | —          | —         | 1,757,124  | —          | 1,757,124  | —                | —           | —            | —              | —          | 1,757,124  |
| 英国子会社退職給付債務の<br>数理計算上の差異の処理額  | —          | —         | 598,984    | —          | 598,984    | —                | —           | —            | —              | —          | 598,984    |
| 自己株式の取得                       | —          | —         | —          | △1,406     | △1,406     | —                | —           | —            | —              | —          | △1,406     |
| 株主資本以外の項目の<br>連結会計年度中の変動額(純額) | —          | —         | —          | —          | —          | △162,213         | 103         | 191,133      | 29,024         | 28,280     | 57,304     |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | —          | —         | 2,097,153  | △1,406     | 2,095,747  | △162,213         | 103         | 191,133      | 29,024         | 28,280     | 2,153,051  |
| 2008年3月31日 残高                 | 10,117,065 | 8,657,753 | 11,877,992 | △2,531,628 | 28,121,182 | 26,889           | 103         | 9,016        | 36,009         | 159,048    | 28,316,241 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 単体財務諸表

## 単体貸借対照表

(単位 千円)

| 科目          | 当期<br>(2008年3月31日現在) | 前期<br>(2007年3月31日現在) |
|-------------|----------------------|----------------------|
| <b>資産の部</b> |                      |                      |
| <b>流動資産</b> | <b>20,692,411</b>    | <b>20,397,489</b>    |
| 現金及び預金      | 1,194,290            | 1,683,529            |
| 受取手形        | 76,891               | 95,371               |
| 売掛金         | 3,417,285            | 3,265,177            |
| 有価証券        | 15,304,046           | 14,681,508           |
| たな卸資産       | 115,017              | 75,182               |
| 繰延税金資産      | 404,493              | 373,560              |
| その他         | 184,145              | 235,418              |
| 貸倒引当金       | △ 3,760              | △ 12,260             |
| <b>固定資産</b> | <b>10,499,124</b>    | <b>9,696,165</b>     |
| 有形固定資産      | 6,890,316            | 6,982,812            |
| 建物          | 3,610,266            | 3,665,640            |
| 構築物         | 78,255               | 85,093               |
| 車両運搬具       | 11,943               | 17,335               |
| 工具器具備品      | 180,291              | 205,184              |
| 土地          | 3,009,559            | 3,009,559            |
| 無形固定資産      | 245,130              | 215,838              |
| 投資その他の資産    | 3,363,676            | 2,497,514            |
| 投資有価証券      | 387,357              | 769,414              |
| 関係会社株式      | 607,702              | 557,702              |
| 関係会社出資金     | 739,946              | 25,288               |
| 関係会社長期貸付金   | 494,532              | 517,040              |
| 関係会社長期営業債権  | 567,473              | 646,410              |
| 保険積立金       | 398,190              | 387,336              |
| 繰延税金資産      | 203,701              | —                    |
| その他         | 461,317              | 414,643              |
| 貸倒引当金       | △ 496,542            | △ 820,320            |
| <b>資産合計</b> | <b>31,191,535</b>    | <b>30,093,655</b>    |

(単位 千円)

| 科目              | 当期<br>(2008年3月31日現在) | 前期<br>(2007年3月31日現在) |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| <b>負債の部</b>     |                      |                      |
| <b>流動負債</b>     | <b>3,415,733</b>     | <b>3,258,630</b>     |
| 買掛金             | 799,238              | 621,811              |
| 未払金             | 703,896              | 626,595              |
| 未払法人税等          | 728,449              | 901,335              |
| 未払消費税等          | 71,670               | 67,843               |
| 前受金             | 452,914              | 377,872              |
| 賞与引当金           | 417,000              | 401,000              |
| 役員賞与引当金         | 30,000               | 40,000               |
| その他             | 212,563              | 222,171              |
| <b>固定負債</b>     | <b>2,443,250</b>     | <b>2,844,786</b>     |
| 繰延税金負債          | —                    | 285,808              |
| 退職給付引当金         | 1,571,040            | 1,545,768            |
| 関係会社損失引当金       | 760,000              | 901,000              |
| 長期未払金           | 112,210              | 112,210              |
| <b>負債合計</b>     | <b>5,858,984</b>     | <b>6,103,416</b>     |
| <b>純資産の部</b>    |                      |                      |
| <b>株主資本</b>     | <b>25,305,661</b>    | <b>23,801,135</b>    |
| 資本金             | 10,117,065           | 10,117,065           |
| 資本剰余金           | 8,657,753            | 8,657,753            |
| 資本準備金           | 8,657,753            | 8,657,753            |
| 利益剰余金           | 9,062,471            | 7,556,539            |
| 利益準備金           | 311,082              | 311,082              |
| その他利益剰余金        | 8,751,388            | 7,245,456            |
| プログラム準備金        | 708,493              | 1,231,362            |
| 特別償却準備金         | —                    | 6,703                |
| 別途積立金           | 5,745,000            | 7,425,000            |
| 繰越利益剰余金         | 2,297,895            | △ 1,417,608          |
| 自己株式            | △ 2,531,628          | △ 2,530,222          |
| <b>評価・換算差額等</b> | <b>26,889</b>        | <b>189,103</b>       |
| その他有価証券評価差額金    | 26,889               | 189,103              |
| <b>純資産合計</b>    | <b>25,332,550</b>    | <b>23,990,238</b>    |
| <b>負債純資産合計</b>  | <b>31,191,535</b>    | <b>30,093,655</b>    |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 単体損益計算書

(単位 千円)

| 科 目                | 当 期<br>2007年4月 1日から<br>2008年3月31日まで | 前 期<br>2006年4月 1日から<br>2007年3月31日まで |
|--------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高                | 12,651,277                          | 12,235,736                          |
| 売上原価               | 3,343,158                           | 3,400,282                           |
| 売上総利益              | 9,308,118                           | 8,835,453                           |
| 販売費及び一般管理費         | 7,273,779                           | 6,976,805                           |
| 営業利益               | 2,034,339                           | 1,858,648                           |
| 営業外収益              | 217,042                             | 187,400                             |
| 受取利息               | 5,929                               | 4,403                               |
| 有価証券利息             | 72,145                              | 34,196                              |
| 受取配当金              | 3,158                               | 1,990                               |
| 受取賃貸料              | 110,844                             | 121,577                             |
| その他                | 24,964                              | 25,233                              |
| 営業外費用              | 114,659                             | 6,540                               |
| 売上割引               | 965                                 | 993                                 |
| 為替差損               | 106,647                             | —                                   |
| 投資事業組合損失           | 6,077                               | 5,385                               |
| その他                | 968                                 | 161                                 |
| 経常利益               | 2,136,722                           | 2,039,508                           |
| 特別利益               | 406,191                             | 302,521                             |
| 固定資産売却益            | —                                   | 2,349                               |
| 貸倒引当金戻入益           | 238,647                             | 169,781                             |
| 関係会社損失引当金戻入益       | 141,000                             | —                                   |
| 投資有価証券売却益          | 26,544                              | 125,440                             |
| 関係会社株式売却益          | —                                   | 4,950                               |
| 特別損失               | 90,269                              | 3,202,171                           |
| 固定資産処分損            | 5,988                               | 5,677                               |
| 投資有価証券評価損          | 83,330                              | 133,150                             |
| ゴルフ会員権評価損          | 950                                 | —                                   |
| 関係会社出資金評価損         | —                                   | 2,029,656                           |
| 関係会社損失引当金繰入額       | —                                   | 901,000                             |
| 関係会社株式評価損          | —                                   | 132,687                             |
| 税引前当期純利益又は税引前当期純損失 | 2,452,644                           | △ 860,140                           |
| 法人税、住民税及び事業税       | 1,097,326                           | 1,196,679                           |
| 法人税等調整額            | △ 409,569                           | △ 70,498                            |
| 当期純利益又は当期純損失       | 1,764,887                           | △ 1,986,321                         |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## シリーズ図研 Q&amp;A

## デジタルモックアップってなに？

このコーナーでは、当社が取り組んでいるビジネスの領域について、イラストを使って紹介させていただきます。読者の皆さまにとって、普段、馴染みの薄い「専門技術」や「専門用語」、あるいは当社のビジネスの概要などについて、シリーズで解説しています。

今回は、現在エレクトロニクス製品において重要な課題となっている「デジタルモックアップ」がテーマです。

## 「デジタルモックアップ」ってなに？

「モックアップ」とは「実物大の模型」のこと。ものづくりの検証においては、実物大の試作品を使うことは今でも一般的ですが、自動車業界では、できるだけ実物模型による検証回数を減らすため、CADの3次元デジタルデータで検証する試みが進んでいます。

エレクトロニクス製品においても、今やデジタルモックアップの実現は重要な課題となっています。



## 1 昔は

試作品を複数作りながらの試行錯誤でも、なんとかあった。コストも時間も大きな問題にはならなかった。



## 2 今や

小型化・高密度化・軽量化・低消費電力化などの課題を解決するために電気設計も機械設計もギリギリのレベルで行っているため、部分修正レベルでは解決しない。



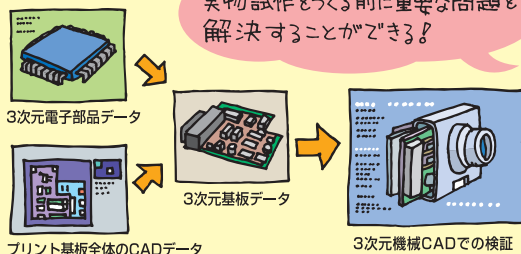
## 3 だから...

電気設計も機械設計も大幅なやり直しで納期に追われる日々。



## 4 この要望に応えてデジタルモックアップを実現する 図石開!

プリント基板CAD(CR-5000)のデータを元に、電子部品をリアルな3次元形状にして機械CAD(V54EE)でさまざまな検証が可能!



実物試作をつくる前に重要な問題を解決することができる!



## 会社データ&amp;株主メモ

## 会社データ (2008年3月31日現在)

## 株式の状況

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 86,525,700株 |
| 発行済株式の総数 | 27,903,669株 |
| 株主数      | 14,957名     |

## 大株主 (上位10名)

| 株主名                       | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---------------------------|---------|---------|
| 金子真人                      | 4,500   | 16.12   |
| 金子真人ホールディングス株式会社          | 3,240   | 11.61   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)   | 2,290   | 8.20    |
| モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インク  | 1,256   | 4.50    |
| 日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)   | 890     | 3.19    |
| 日本生命保険相互会社                | 803     | 2.87    |
| 和田扶佐夫                     | 800     | 2.86    |
| ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー) |         |         |
| サブ アカウント アメリカン クライアント     | 738     | 2.64    |
| 金子みね子                     | 580     | 2.07    |
| エイチエスピーシー バンク ピーエルシー      |         |         |
| クライアントズ ユーケー タックス トリーティー  | 189     | 0.67    |

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式2,008千株があります。  
持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

社 名：株式会社図研 ZUKEN Inc.  
 設 立：1976(昭和51)年12月17日  
 資 本 金：101億1,706万5千円  
 株式市場：東京証券取引所第一部  
 従業員数：540名(連結1,175名)  
 平均年齢：35.3歳  
 U R L：<http://www.zuken.co.jp/>

## 役員 (2008年6月27日現在)

|          |              |
|----------|--------------|
| 代表取締役社長  | 金子 真人        |
| 代表取締役副社長 | 勝部 迅也        |
| 専務取締役    | 嶋内 敏博        |
| 取締役      | 上野 泰生        |
| 取締役      | 飯屋 和浩        |
| 取締役      | 相馬 肅一        |
| 取締役      | ゲルハルト・リップスキー |
| 監査役(常勤)  | 和田 扶佐夫       |
| 監査役      | 斎藤 源次郎       |
| 監査役      | 荒井 洋一        |
| 監査役      | 三宅 錦之        |

## 関係会社

株式会社ジーラス  
 図研テクノマティクス株式会社  
 図研ネットウエイブ株式会社  
 インベンチャ株式会社  
 株式会社キャドラボ  
 株式会社チップワンストップ  
 エルミック・ウェスコム株式会社\*

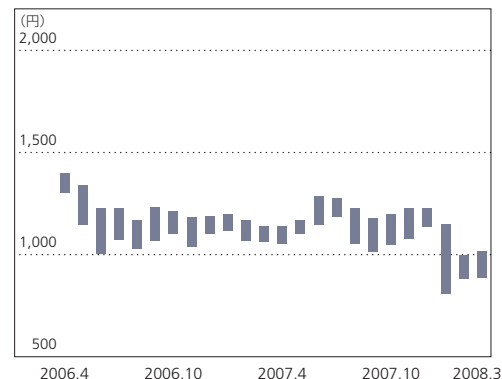
ZUKEN EAO(欧米8社)  
 ZUKEN KOREA Inc.  
 ZUKEN SINGAPORE Pte.Ltd.  
 ZUKEN TAIWAN Inc.  
 図研上海技術開発有限公司  
 CIM-TEAM GmbH

\*エルミック・ウェスコム株式会社は、2008年6月より当社の持分法適用会社になりました。

## 株式メモ

|           |  |
|-----------|--|
| 事業年度：     | 4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会：   | 毎年6月   |
| 基準日：      | 定時株主総会の議決権 毎年3月31日   |
|           | 期末配当 毎年3月31日   |
|           | 中間配当 毎年9月30日   |
| 公告方法：     | 電子公告(当社ホームページ： <a href="http://www.zuken.co.jp/e-koukoku/">http://www.zuken.co.jp/e-koukoku/</a> )<br>なお、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。                      |
| 1単元の株式の数： | 100株   |
| 株主名簿管理人：  | 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社  |
| 同事務取扱所：   | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-78-2031<br><a href="http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html">http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html</a> |
| 同取次所：     | 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店<br>日本証券代行株式会社 全国各支店   |
| 証券コード：    | 6947   |

## 株価推移





株式会社 図研 <http://www.zuken.co.jp/>



|          |           |                               |                        |
|----------|-----------|-------------------------------|------------------------|
| 本社・中央研究所 | 〒224-8585 | 横浜市都筑区荏田東 2-25-1              | TEL : 045-942-1511 (代) |
| センター南ビル  | 〒224-8580 | 横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-11              | TEL : 045-942-1300 (代) |
| 新横浜ビル    | 〒222-8505 | 横浜市港北区新横浜 3-1-1               | TEL : 045-473-6868 (代) |
| 関西支社     | 〒530-0003 | 大阪市北区堂島 1-6-20 (堂島アバンザ)       | TEL : 06-6343-1141 (代) |
| 名古屋支社    | 〒460-0008 | 名古屋市中区栄 1-3-3 (朝日会館)          | TEL : 052-222-3131 (代) |
| 仙台支社     | 〒980-0811 | 仙台市青葉区一番町 4-6-1 (仙台第一生命タワービル) | TEL : 022-267-9055 (代) |